

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月10日

事業ID:2023004867

事業名:愛知県長久手市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営(最終年度)

団体名:特定非営利活動法人ながいく

代表者名:代表者 田中 直子 印

TEL:0561-41-8145

事業完了日:2024年3月31日

■契約時

事業費総額	:	7,200,000 円
自己負担額	:	1,440,000 円
助成金額	:	5,760,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	7,200,410 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	1,440,410 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	5,760,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

愛知県長久手市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営(3年目)
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日
(週4日、月・木10時から17時、水・金10時から14時、火・金いずれか17時から20時まで開所)
(2)場所:愛知県長久手市
(3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)
(4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。ボランティアとの畑管理や公園遊び、地域のイベントへの参加等を通じて、子どもに多様な経験を提供し、選ぶ力・決める力・つなげる力を育む。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

愛知県長久手市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営(3年目)
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日
(週4日、月・木10時から17時、水・金10時から14時、火・金いずれか17時から20時まで開所)
(2)場所:愛知県長久手市
(3)対象:20名(家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心)
(4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。ボランティアとの畑管理や公園遊び、地域のイベントへの参加等を通じて、子どもに多様な経験を提供し、選ぶ力・決める力・つなげる力を育む。



(3)成功したこととその要因

子ども食堂を中心とした展開となりましたが、小学生に留まらず、様々な世代に知っていただくことで、活動の幅が広がりました。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。

(5)事業内容詳細

3年間の事業を通し、多くのボランティアさんにも協力してもらえるようになりました。3年間を通し、場作りをすることができましたので、これをもとに、あまり予算を掛けずに運営できる方法で継続したいと考えています。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

--

(2)事業内容の実施(完了)状況

--



(3)成功したこととその要因

--

(4)失敗したこととその要因

--

(5)事業内容詳細

--

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

<ul style="list-style-type: none">・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を15名にする・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築、他世代交流機会の提供・子どもの「経験不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に36回実施する
--

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	118	文字数チェック	OK
<ul style="list-style-type: none">・利用児童数は、1日平均15名となった。・学生のボランティアや、ボランティア団体に参加してもらうことができた。・ボードゲームなどを使った「ゲーム大会」、地域住民による工作教室、子どもたちが運営する駄菓子屋さんなどのイベントを行った。			



3.事業実施によって得られた成果

3年間を通して、小予算で子どもの居場所を運営する方法を模索できた。
また、子どもの経験のためにボランティアで活動してもらえる人たちと、つながることもできた。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

やはり、学校との連携はハードルが高いと感じた。
学校にもよるが、特に大きな課題がないが、状況を把握したり現状を伝えたい場合に、個人情報の観点などから、話しをすることが難しい。

子ども家庭課や教育総務課を通して、「問題がなくても現状を伝え合う」関係性を作れるよう、訪問を市報告書を届けるなどの活動を行いたい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL



2023年度 収支計算書

2023年4月1日から2024年3月1日まで

(単位:%)

団体名: 特定非営利活動法人ながいく

契約書(記3)に記載の補助率

80

事業名: 愛知県長久手市における「子ども第三の居場所」コミ

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	5,760,000	5,760,000	5,760,000	0	0
② 自己負担	1,440,000	1,440,410	1,440,410		
③ 収入合計	7,200,000	7,200,410	7,200,410	0	0

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
給与手当	2,407,200	2,473,762	2,473,762		
臨時雇用費	2,376,000	2,405,820	2,405,820		
謝金	1,332,000	1,213,900	1,213,900		
印刷製本費	60,000	17,100	17,100		
通信運搬費	153,600	267,403	267,403		
消耗品費	130,000	124,587	124,587		
水道光熱費	378,000	354,912	354,912		
食材費	288,000	265,746	265,746		
修繕費	36,000	38,500	38,500		
保険料	39,000	38,680	38,680		
支出合計(端数調整前)	7,199,800				
端数調整欄	200				
④ 支出合計(端数調整後)	7,200,000	7,200,410	7,200,410	0	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生
無し

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力の間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計=予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計=決算額(y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計-助成金返還見込額= 支出済額(z)+未払額④支出合計	OK

セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

<input checked="" type="checkbox"/> ① (収入の部)の予算額 (A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
<input checked="" type="checkbox"/> ② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と (支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
<input checked="" type="checkbox"/> ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。